

令和 8 年度書写 第 2 学年年間指導計画

年間 20 時間 杉並区立杉森中学校

月	単元名・時数・教材名・指導目標	評価規準
4 月 5 月 6 月 7 月	日常に役立つ書式 手紙の書き方 (教科書 P110～111) 6 時間 ◎目的や相手に応じて、書式を選んで書くことができる。〔知技 (3) ウ (ア)・(イ)〕 ◎事柄や心情が効果的に伝わるように、表現や構成を工夫して手紙を書くことができる。(思 B (1) イ・ウ (2) イ)	【知】目的や相手に応じて書式を選び、書写の知識・技能を生かして書いている。 【思】伝えたいことが分かりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫している。 【思】具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【態】学習を生かして書式に合わせて相手に分かりやすく書こうとしている。

9 月	2. 行書に仮名を交えて書こう	
10 月	行書と仮名の調和 (教科書 P40-41) 3 時間 ◎行書と仮名の調和を意識して書くことができる。〔知技 (3) ウ (ア)〕	【知】行書と仮名を調和させるための筆使いのポイントを理解している。 【技】行書と仮名が調和するように、筆脈と筆圧の変化を意識した行書的な筆使いで書いている。 【態】楷書に調和する仮名と比較し、行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。
11 月	行書に調和する仮名 (教科書 P42-43) 3 時間 ◎行書に調和する仮名の特徴を理解して書くことができる。 〔知技 (3) ア・ウ〕	【知】行書に調和する仮名に表れる点画の特徴を理解して、読みやすく速く書いている。 【態】行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。

11 月	行書と仮名のまとめ (教科書 P44-45) 2 時間 ◎これまでに学習したことを生かして、行書とそれに調和する仮名で文章を書くことができる。〔伝国 (2) ア, (1) ア (7)・ウ (7) (4)〕	【知】行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴を理解している。 【知】行書の字形の整え方を理解している。 【技】行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴、文字の大きさと配列に注意し、行書と仮名を調和させながら文章を書いている。 【態】行書とそれに調和する仮名について、これまでに学習したことを主体的に生かして書こうとしている。
------	---	--

12 月	3. 楷書か行書かを選択して書こう	
	楷書と行書の使い分け (教科書 P46-47) 4 時間 ◎目的や必要に応じて、楷書か行書かを選択して書く必要があることを理解することができる。〔知技 (3) ウ (イ)〕 書き初め	【知】目的や必要に応じて楷書か行書かを選択して書く必要があることを理解している。 【技】楷書と行書、それぞれの特性を理解した上で、目的や必要に応じて適切な書体を選択し、書き分けている。 【態】提示された場面において、楷書と行書のどちらで書くのが適しているか、主体的に考えようとしている。
1 月 2 月 3 月	【コラム】季節のしおり 2 (教科書 P48-49) 2 時間 ◎これまでに学習したことを生かして、楷書とそれに調和する仮名、行書とそれに調和する仮名で季節にまつわる詩歌や言葉を書くことができる。〔知技 (3) ウ (ア) (イ)〕	【知】これまでに学習したこと（行書とそれに調和する仮名の筆使いと点画の特徴／行書と仮名の調和／文字の大きさと配列）を理解している。 【技】これまでに学習したことを生かして、楷書とそれに調和する仮名、行書とそれに調和する仮名で季節にまつわる詩歌や言葉を書いている。 【態】これまでに学習したことを生かして季節の言葉を書くことに、興味をもって取り組んでいる。